

お知らせ

資料提供
三次記者クラブ



国土を整え、全力で備える
中国地方整備局
三次河川国道事務所
Miyoshi office of River and National Highway

平成26年8月8日

平成26年8月6日出水における 灰塚ダムの効果について【速報】

江の川流域では、前線等により8月5日から6日の午前中にかけて局所的な雨が降り、支川西城川の上流の雨量観測所では総雨量が237mmを記録しました。この雨による出水により、馬洗川南畑敷地点の最大流量は約1,490m³/sとなりました。灰塚ダムにおいては、最大流入量に対し約8割の洪水をダム湖へ貯留し、馬洗川下流域の避難勧告を回避することができました。

なお、今回の出水は、南畑敷地点を通過する流量として10年に1回程度経験する規模の出水です。



8月6日出水の状況

問合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所

	副所長（河）	むかいだ 隆史	たかし 隆史
担当	灰塚ダム支所長	さいとう 斉藤	かずまさ 一正（ダム関係）
	建設監督官	はもと 濱本	けんたろう 賢太郎（河川関係）
広報窓口担当	建設専門官	みぞかわ 溝川	かつみ 克巳

TEL（0824）63－4121（代表）

FAX（0824）63－0210

治水事業の効果(速報)

～平成26年8月6日降雨（広島県 江の川）～

前線等の影響で8月5日夜から中国地方や東北地方で大雨となり、局所的に猛烈な雨をもたらした。山口県では、局所的に1時間に100mmを超える猛烈な雨を記録している。

江の川流域では、支川西城川流域において時間40mmの局所的な雨が生じ、降り始めからの総雨量は237mmとなった。

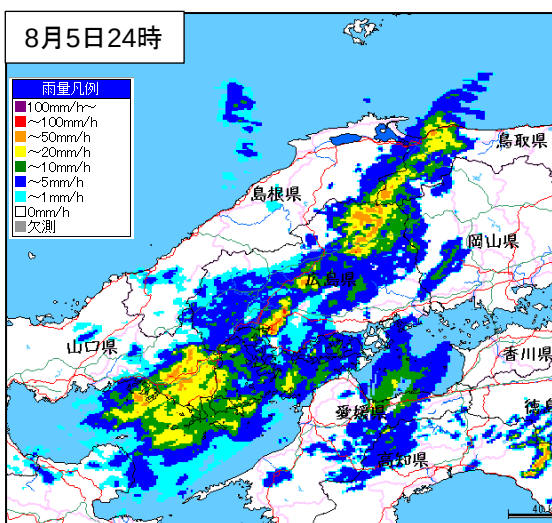
激しい雨は、西城川及び馬洗川流域に集中して降り、江の川の国管理区間（広島県内）でも尾関山観測所でははん濫危険水位を超え、三次市の一部地域においては、避難勧告が発令された。

灰塚ダム下流ではダムによる洪水調節で河川流量を低減した。

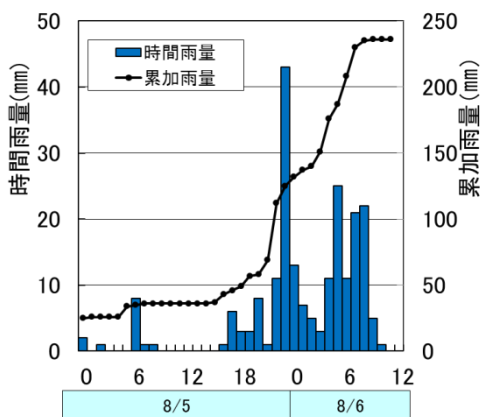
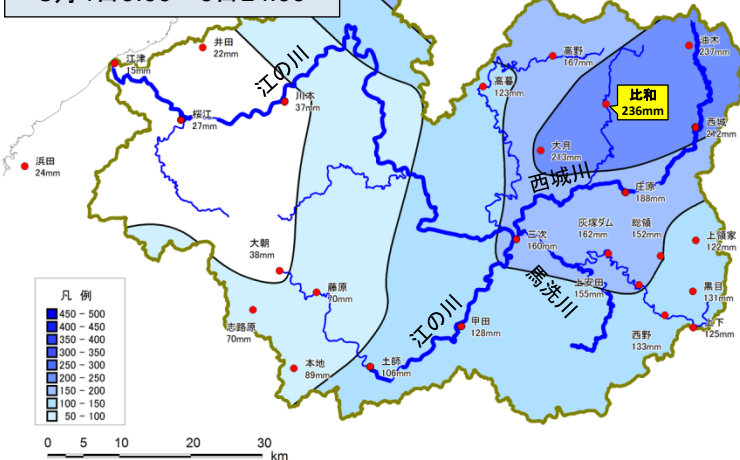
天気図(8月6日3時)



日本気象協会HPより引用



江の川流域の等雨量曲線
8月4日9:00～6日14:00



比和雨量観測所

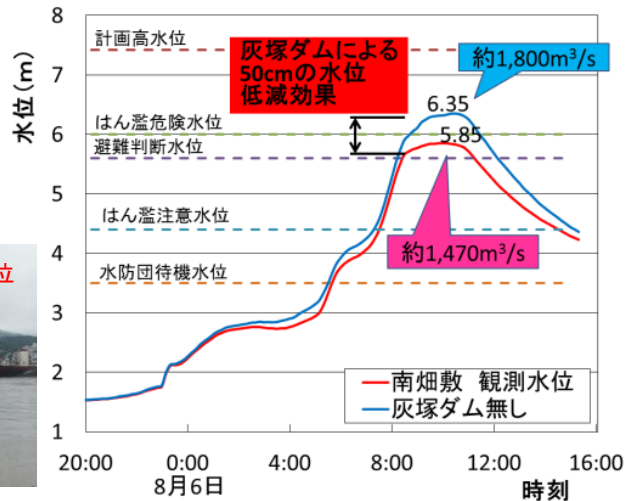
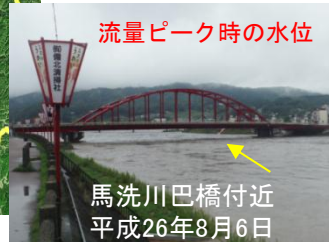


全国の一般被害状況(8月1日以降)
(消防庁調べ8月7日9:30現在より抜粋)

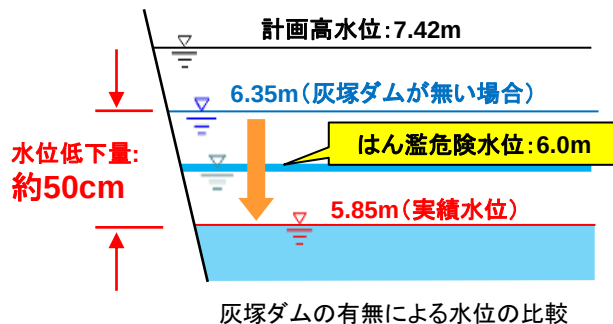
死者	4
行方不明者	1
全半壊一部破損	21
床上浸水戸数(棟)	691
床下浸水戸数(棟)	1,387

はいづか 江の川
 灰塚ダム整備が効果を発揮(広島県 江の川)

- 平成26年8月5日から6日にかけて前線等に伴う局所的な雨が生じ、江の川尾関山地点においてははん濫危険水位を超える洪水が発生。
- 平成19年に完成した灰塚ダムにより洪水調節を行い、最大流入量410m³/sの約83%をダムに貯め、下流の流量を低減した結果、馬洗川の南畑敷付近では約50cm水位が低下。
- これにより、はん濫危険水位を超過することなく、馬洗川流域における避難勧告の発令を回避した。



馬洗川南畑敷地点の水位低減効果



はん濫危険水位:
はん濫の恐れがある水位

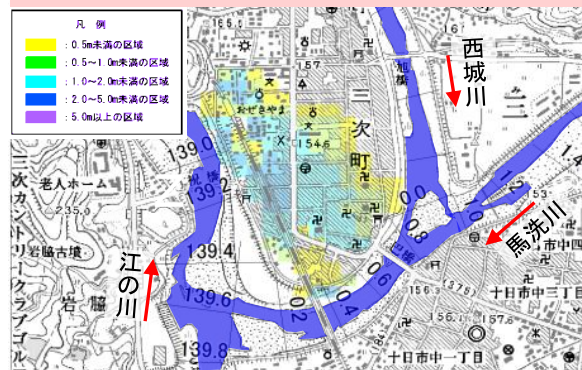
灰塚ダムにより馬洗川流域の避難勧告発令を回避

もし、ダムが無く、
はん濫危険水位を超過し
堤防が決壊していたら...

想定される被害

浸水面積: 約 6 ha
 浸水世帯数: 約 265 世帯
 被害額: 約 155 億円

想定される浸水範囲



灰塚ダムが効果を発揮(広島県 江の川)

ごうのかわ

★馬洗川(南畑敷)で約50cm水位を低下させ、はん濫危険水位を回避！！

○灰塚ダム上流で、総雨量135mm程度の降雨。(8月平均雨量の110%)

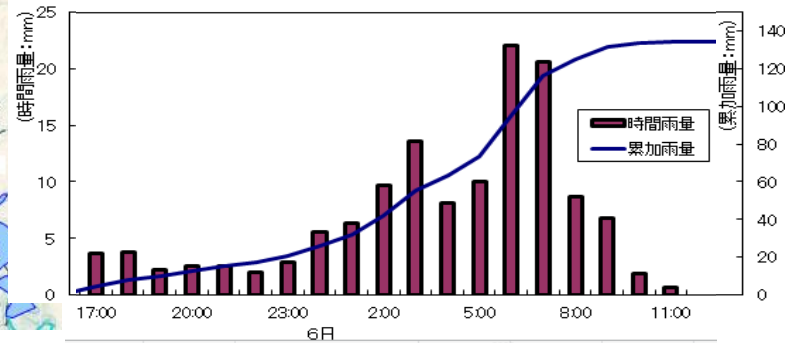
○ダムへの最大流入量の時に約83%の水をダムに溜め込み

○今回の洪水調節で、675万m³(50mプールの約2,700杯分)をダムに貯留

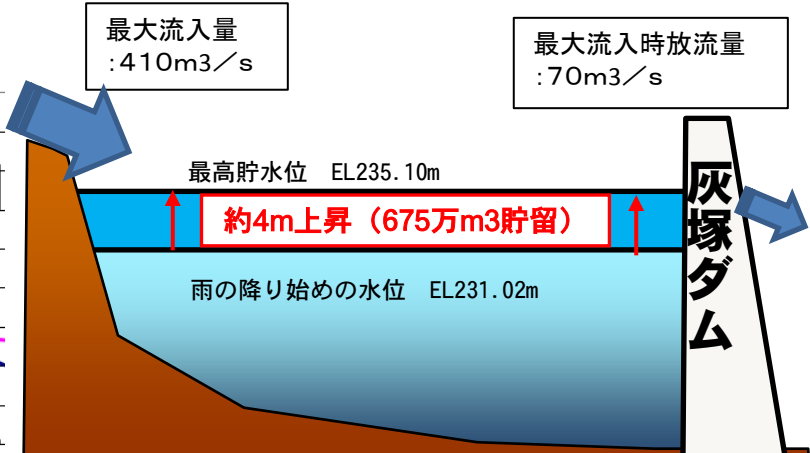
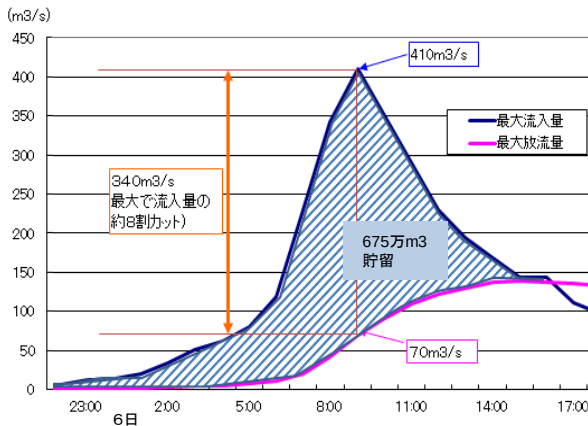
※ 50mプール→50m×25m×2m=2,500m³で換算

灰塚ダム位置図

灰塚ダム上流の降雨状況図(流域平均雨量)



灰塚ダムによる洪水調節図



※数値は速報値であり、今後変わることがあります。